

1. 日本村の様子

① 村の人口（100人）について

(性別)

- 村人100人のうち、男性49人、女性51人です。



(年齢)

- 村人100人のうち、子どもは12人、お年寄りは28人です。
- 村人のうち、小学生は5人、中学生は3人、高校生は3人、大学生は2人です。

(場所)

- 村人100人のうち、50人は人や会社の多い集落に住んでいます。



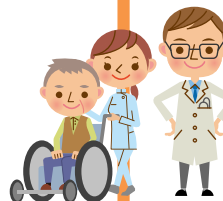
(職業)

- 村人100人のうち、44人が仕事をしていて、
⇒2人は農家や漁師として働いています。
⇒11人は建物を建てたり、工場で機械などを製造する仕事をしています。
⇒31人は商店や飲食店、ITなどのサービス業として働いていて、
そのうち3人は公務員(警察、役場など)として働いています。



③ 村の良い所（治安、医療、教育等）について

- 村は他の村と比べても、とても安全な村です。
⇒1年間に事件に巻き込まれるのは、100人のうち、1人です。
- 村は、医療が発達していて、村人皆で助け合っているので、病気やケガをしても、安いお金で病院の先生に診てもらえます。
- 村では、人の数が少なく豊かではない集落に住んでいても、同じ公共サービスが、受けられるよう工夫を行っています。
(どの集落でも同じように警察官が守ってくれる。)
- 村では、年を取って働けなくなっても、村人みんなで助け合っているため、若いころからちゃんと村の会費を納めていた村人は、生活に必要なお金を年金として受け取ることが出来ます。
- 村が運営している小学校と中学校には、タダで通うことが出来ます。保育園や幼稚園、高校や大学も、村の子どもが安く通えるように、村が支援しています。



② 村の1年間の稼ぎ（510万円）について

- 村人と村の会社を合わせて、村全体で毎年510万円を稼いでいます。
- 村は、アメリカ村と中国村に続いて、3番目にたくさんのお金を稼ぐことが出来る村です。
- 村は、昔から自動車を作ったりするのが盛んでしたが、最近では村人にインターネットサービスや配達サービスを提供するサービス業が盛んです。
- 村のお財布状況は厳しいですが、それを改善するためには、1年間の稼ぎをどうやって増やしていくのかも、とても重要な問題です。



【村の稼ぎを増やすための取組み】

- ①村では、ロボットや人工知能、車の自動運転などの新しい技術開発を進めようとしています。
- ②子育て・介護の環境を整えたり、若者への支援を拡充したり、村人の働き方を改革したりすることで、村人皆が活躍できる社会を目指しています。

④ 村の課題（少子高齢化、人口減少）について

- 村では、1年間に生まれる子どもが年々少なくなっています。そのため、今の人口が、2050年には81人に減ってしまいます。

子どもの人数は、	12人	⇒	8人
大人(働き手)の人数は、	60人	⇒	42人
お年寄りの人数は、	28人	⇒	31人

- 人口が減って、大人も減ってしまった後に、村全体で毎年510万円も稼げるのか、これまで充実していた医療や教育などのサービスを受けられるのか、村人は心配しています。

2021年



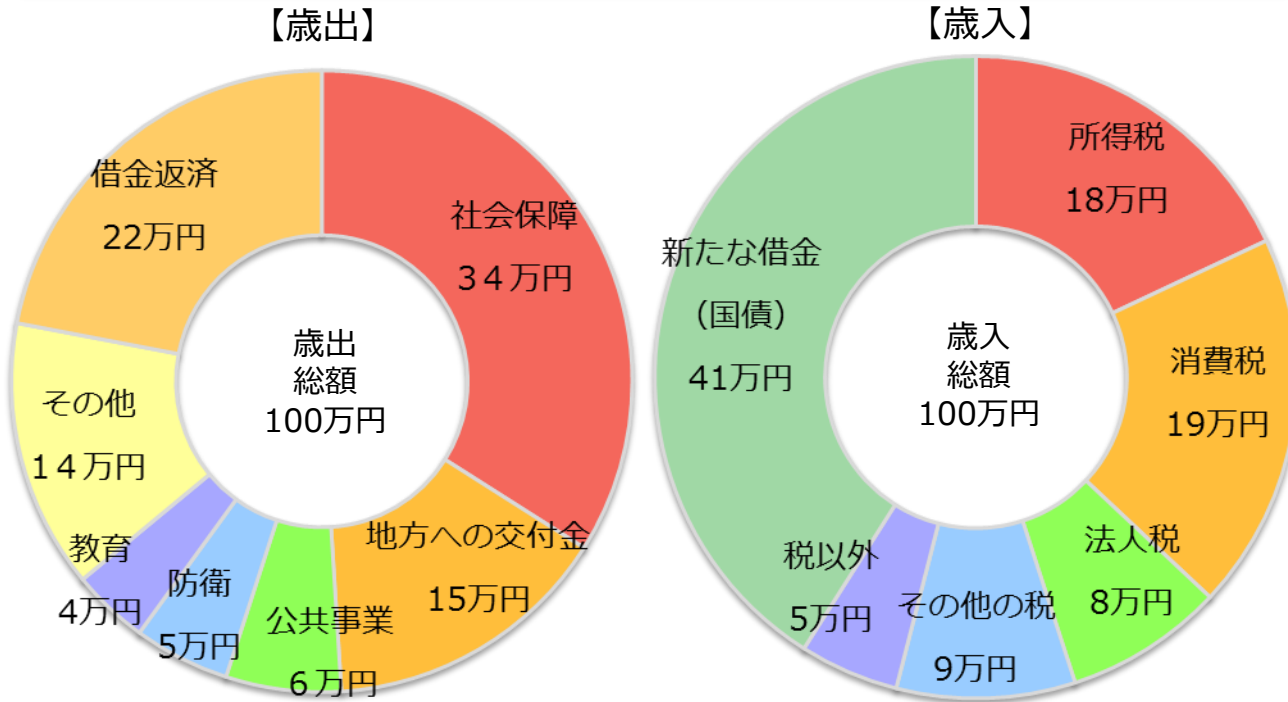
2050年



2. 日本村のお財布状況

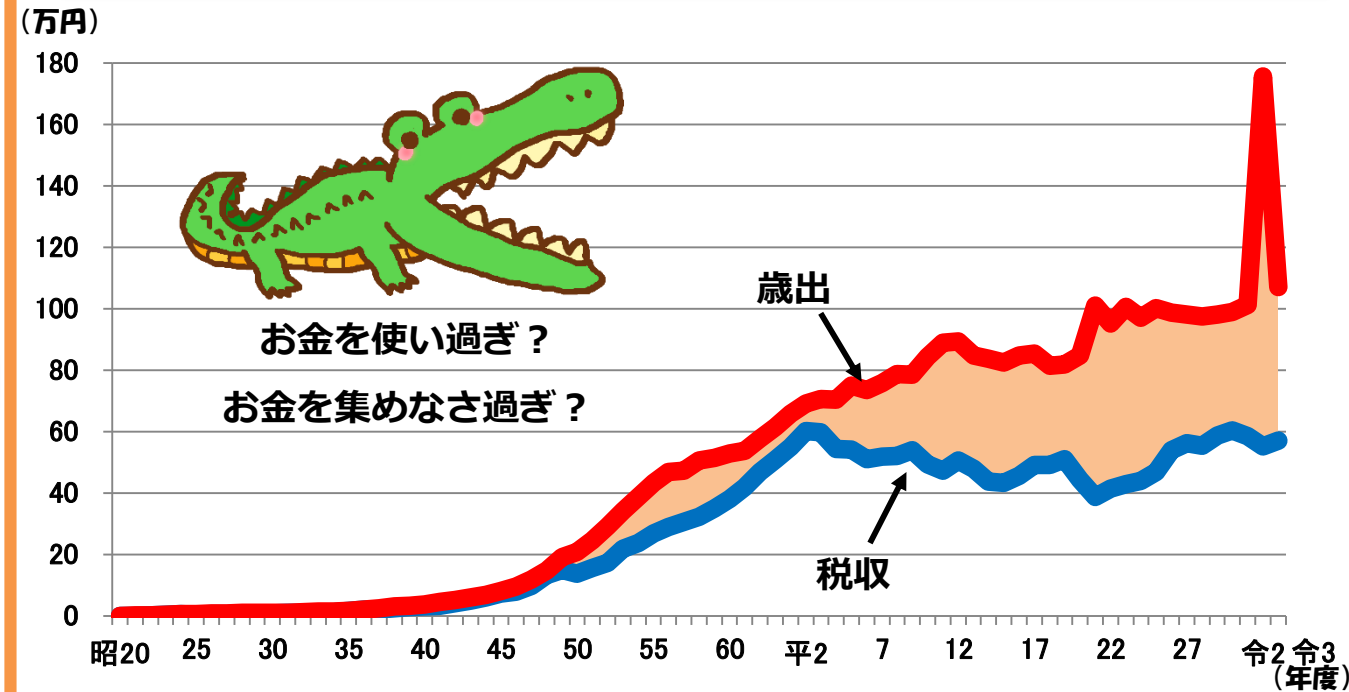
① 村の去年の予算 (100万円) について

村の1年間の支出を「歳出」、収入を「歳入」といい、この歳入と歳出の計画を「予算」といいます。村の今年の予算は、総額で100万円となっています。



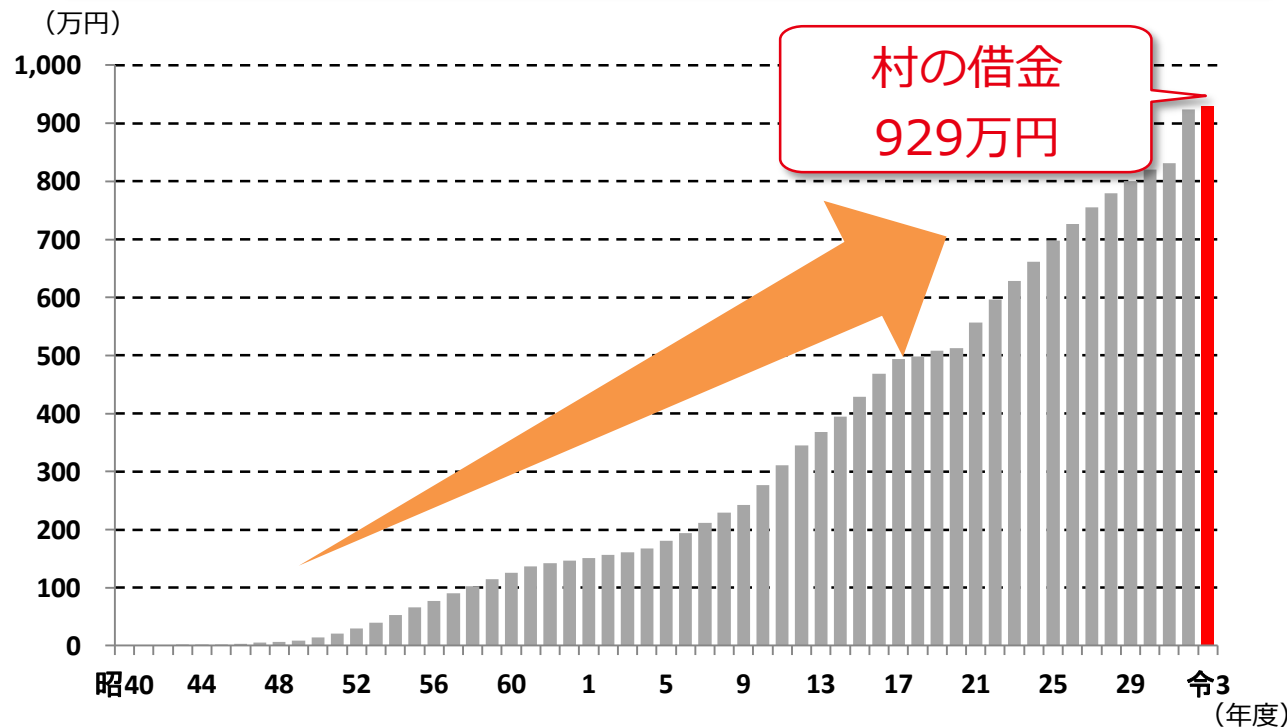
② 村の歳出と税収の推移

平成以降、歳出と税収の差が特に拡大し、借金が増加してきています。歳出と税収の推移が口を開いたワニに見えるため、「ワニ口」グラフと呼ばれています。



③ 村の借金総額の推移

毎年借金を続けた結果、村の借金は急速に積み上がっています。



④ 他の村と比べて見ると...

借金の水準 (村の借金総額 ÷ 経済規模) は、他の村と比べてもひどい状況に。

